

ブタに真珠のKA I N Sか？

教養部保健体育科 北浦 孝

私はKA I N Sを使用し始めて約2年ほどになる。しかし、今尚全くの初心者です。わき腹をつまんでみると20代には無かった脂肪の厚みがたっぷり感じられるこのごろ、(既にKA I N Sを自由に使いこなしている人達にとってはこの文章は読む価値がありませんので読みとばして下さい。ヒマな人はどうぞ読んで下さい。)世に言う中年太りが私の身体をついばみ始めているのです。この情報化時代にKA I N Sをある程度使えなければ、これはまさに「ブタに真珠」だと時あるごとに自分に言い聞かせている毎日です。

苦労話を少し紹介します。はっきり言ってKA I N Sは私にとって頭痛の種でした。というのは私はこのKA I N SをPC9801F2という代物につないだ為富士通のFMシリーズを利用する人には無い苦労があったのです。従って広報のPCに関する資料はとても役に立ったのです。PCの利用者を対象としたKA I N Sの利用方法を説明するマニュアル(PC-KA I N Sマニュアル)が欲しいなといつも思っている次第です。最初にまずトヨコムのPC用のボードを入れシステムを組み込む訳だが、これがまた簡単ではなかった。とにかくわからないままに近くのすでに利用している他の先生に教えてもらってその通りにCONFIG.SYSを作り、プログラムが動くようにしたわけです。これが出来上がるまでに、約2ヶ月ほどかかった。その理由は今では考えられないメモリー不足という事態に陥っていたからなのです。その次は実際にプログラムを動かす段階でいろいろな指定をしなければならぬ。訳のわからないままに教えられた通りにインプットした。これは今も何を意味しているのかわからない部分がある。全部が全部こんなぐあいだから、はりきって使いきるようになるのに時間がかかった。コンピュータとは何と時間を食う代物なのかと今でも思う。更にハードディスクを購入したときはKA I N Sをそれに組み込んだためにまたトラブルが起こった。つまりハードディスクには他のワープロソフトや計算ソフトが入っているためメモリーが重なって使用できないと言う事態が生じたのである。もう一度最初からセットしなおし、メモリー番地を変え、これにATOKを組み込み、この段階でやっと通信(MSPNET)が使えるようになった。この間半年はかかったと思う。それでもいさんでメールを書き何度か投書もした。この時もPFDの使い方がわからず何度止めようかと思ったことか。それでもどうにかKA I N Sでの通信になれ、おかげで後はBITNET通信そして学術情報ネットワークやOPAKでのデータベース検索へと広がって行った。ここまで約1年間。おかげでこの段階でKA I N Sのありがたみが感じられるようになったのです。しかし、ここにもいくつもの落とし穴がありました。その一つはハードディスクの故障でした。背スジがゾッとしました。運悪くKA I N Sのシステムに関する情報をコピーしてなかったためにまた最初からやり

直しになり、結局思い出すのに時間がかかった。こんな訳で私は多くの時間をK A I N Sにつき込んでしまった。二度と同じ失敗を繰り返さないように今はシステムに関する情報だけはコピーを取るようにしています。まだうまくK A I N Sの使えない人で、理屈はどうであれ、とにかく使ってみたいという人は一緒に練習しましょう。遠慮せずに連絡下さい。連絡番号はA B 0 2 2 4です。メールが無理なら電話でも結構です。K A I N Sをものにするにはやるしかない。そしてどうせやるなら無駄の少ない方法でやりましょう。